

安心・安全で元気な地域づくりを目指して 柏崎市コミュニティ推進協議会だより

令和8年
3月13日発行

No.26

柏崎市コミュニティ推進協議会（通称 コミ協）とは…

市内全域の27地区のコミュニティ協議会で構成された組織です。協議会では、各地区の地域づくりの中心的役割を担うコミセン職員が集まり、研修や広報活動を通じて各コミュニティの抱えている地域課題の解決に向けた取組を行っています。

バックナンバーは
こちらから→



視察研修 in 長岡市 11月25日

今回は「ミライエ長岡」を会場に、長岡市コミュニティセンター運営研究会や市内5地区の方々から、活動事例について説明を受けました。特に印象的だったのは、高齢化や人口減少といった柏崎市と同じ課題を抱える中で、各地区が試行錯誤しながら地域づくりに取り組んでいる姿です。「地域の宝発見プロジェクト」と題して、住民参加型で地元の魅力や歴史を再発掘し、マップ・冊子作りに活かす取り組みな

ど、他市の具体的な実践例や悩みに触れることで、参加者一人ひとりが自らのコミュニティ活動を振り返り、新たな視点を獲得する貴重な機会となりました。

研修の後半は「長岡震災アーカイブセンター きおくみらい」を訪問しました。中越大震災の記録や展示を通じ、災害の教訓を風化させないこと、そして災害時における地域での「共助」の大切さを再確認しました。



長岡市のコミュニティ制度について説明を受ける



長岡市のコミュニティ関係者の皆様と記念撮影



「長岡震災アーカイブセンター きおくみらい」を見学

コミュニティ全体研修会 12月19日 産業文化会館

前半は、徳島大学大学院の田口太郎教授より「人口減少社会における地域コミュニティのあり方と役割」と題してオンラインにて講演をしていただきました。担い手不足が深刻化する中、地域外からの協力者を得る視点や、若者世代との関わり方について、「自然と人が集まる居場所を作ることが大切」といった具体的なアドバイスをいただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。

後半は「コミュニティ統合の事例発表」を行いました。野田・西山の両地区から、統合に至る経緯やその後の課題、効果について発表がありました。「統合直後の多忙な時期に外部サポートをうまく活用した」といった生の声や、広域化した地域への配慮など、実践に基づく報告は、今後の組織運営を考える上で大変有意義な時間となりました。



徳島大学教授・田口太郎氏による基調講演



質疑も多く寄せられ、活発な時間となった



野田・西山の両地区が統合の事例を発表

【令和7年度に周年事業を行ったコミュニティ協議会】

地区	式典開催日	参加人数	周年
西中通	10/26（日）	記念式典60人・記念祝賀会39人	50年
北条	10/18（土）	約200名	50年
米山	10/18（土）	64名	40年

Q1 企画のハイライトはなんですか？

西中通コミュニティセンター

田村
センター長



将来を担う地元の園児・児童からのビデオメッセージを上映。式典の最後には参加者全員で「西中通よ わがふる里」を大合唱しました。また、前夜祭では250個のバルーンリリースを行い、子どもから大人まで歓声が上がりました。



記念合唱
「西中通よ わがふる里」



バルーンリリース

北条コミュニティセンター

石橋
センター長



「50年のあゆみ」として、地域の歴史を次世代へ伝える振り返りを実施。また、例年のコミセン祭りを「創立50周年記念まつり」としてパワーアップさせ、ふるさと広場・芸能広場・創作広場など多彩な催しで盛り上げました。



芸能広場
エンジョイ北条拍子クラブによる演奏



芸能広場 よさこい

米山コミュニティセンター

廣瀬
センター長



例年の恒例行事を「40周年記念事業」と冠して盛大に開催しました。特に目玉となったのは「ふれあい旅行」。普段はコミバスで行く研修旅行を、今回はガイド付きの観光バスを手配し、記念旅行として開催しました。



40周年記念
太鼓集団鼓明楽による演奏



40周年記念事業「ふれあい旅行」

Q2 準備と体制の工夫は?

西中通コミュニティセンター

資金の積立は5年前から開始。実行委員会は「イベント」「記念誌」「事務局」の3体制で進めました。記念誌部会は、専門知識のある方をメンバーに迎えたことで、編集がスムーズに進みました。

北条コミュニティセンター

準備は約1年前からスタート。式典実行委員会を中心に内容を検討し、当日は全コミセン委員の協力を得て運営しました。周知には全戸配布の広報紙「山なみ」とチラシを活用し、地域全体への浸透を図りました。

米山コミュニティセンター

1年前から、各町内会長とコミセン専門部員による実行委員会を組織。各部の部長・副部長に町内会長と専門部長を配置することで、地域と専門部の連携がスムーズになりました。

Q3 どこが大変でしたか?

西中通コミュニティセンター

設立初期の資料探しや、功労者・来賓の選定に苦慮しました。長期間の準備でしたが、最後は委員全員が笑顔で終えることができました。

北条コミュニティセンター

式典の内容や手配、司会者の選定に苦労しました。「写真展示があればもっと良かった」という声もあり、振り返りの演出には工夫の余地がありそうです。

米山コミュニティセンター

実行委員会では、多様な意見や要望が出るため、取りまとめに苦労しました。また、開催時期を30周年時と同じにした結果、コミセン祭りと重なり多忙になりました。

Q4 これから周年を迎える皆さんへ

西中通コミュニティセンター

事業費の積立は早めの開始をおすすめします! また、事務局がしっかり方向性を決め、実行委員会と一緒に進めていくことが成功の秘訣です。

北条コミュニティセンター

準備は1年前から始め、打ち合わせの頻度を多くすることがおすすめです。委員の皆さんの日程調整が大変なので、早め早めの計画が大切です!

米山コミュニティセンター

実行委員会での意見集約は、事務局が概要をまとめ、実現可能なラインを示すと良いです。また、他の大きな行事と重ならないよう、開催時期は慎重に検討することをおすすめします!

第26回 元気なコミセンにおじゃまします (最終回)



西山コミュニティ協議会
センター長

藤井 政明 さん

所在地
柏崎市西山町池浦877番地
西山いきいき館内
TEL 0257-31-6117
FAX 0257-35-6178

西山コミュニティセンター

●コミュニティセンターの紹介

令和4年4月、石地・別山・中川・大田の4コミセンが統合し、西山町いきいき館内に西山コミュニティセンターが開設されました。旧中川コミセンの体育館をメインに、旧石地・旧別山コミセンの体育館を分館として活用しています。

●地域の紹介

柏崎市最北に位置する当地域は、約950世帯が暮らす自然豊かなエリアです。かつて宿場町として栄えた石地地区の歴史ある寺社に加え、石地から大崎へ続く海岸線では年間を通してレジャーを楽しめます。春には雪割草やカタクリが咲き誇り、西山自然体験交流施設「ゆうぎ」でのキャンプも人気を集める魅力的な地域です。

●活動の紹介

「みんなでつくろう 魅力あふれるふるさと西山」をスローガンに、住民の絆を深め、多様な価値観が交流するコミュニティづくりを目指しています。組織は総務企画・教養文化・環境整備・健康推進の4専門部で構成され、石地地区の「石地海のえんま市」や別山地区の「高内城祭」などの地域行事、大田地区の味噌づくりといった伝統的な食文化を大切に継承しながら、世代を超えた融和を図っています。また、新たな試みとしてゲームメーカーの協力を得て、テレビゲームを活用した高齢者の居場所づくりにも着手しました。地域一体となり、誰もが自分らしく輝けるまちづくりを推進しています。



海のえんま市



高内城祭



地域巡り



石井神社大祭

柏崎市コミュニティ推進協議会 令和7年度 活動記録

4月24日(木) 第1回役員会(市役所)
5月21日(水) 第1回会長会議(産業文化会館)
6月12日(木) 新任者研修(市役所)
「柏崎市のコミュニティ制度」ほか
9月9日(火) 主事研修
(市民交流センター ネーブルみつけ(見附市)・米百俵プレイス ミライエ長岡(長岡市)ほか)
9月26日(金) 第2回役員会(市役所)
10月2日(木) センター長研修
「不正を未然に防ぐためのセンター長の役割」ほか

11月25日(火) 視察研修 in 長岡市
(米百俵プレイス ミライエ長岡・長岡震災アーカイブセンター きおくみらい ほか)
12月12日(金) 推進協議会だより第25号発行
12月19日(金) コミュニティ全体研修会(産業文化会館)
「基調講演:人口減少社会における地域コミュニティのあり方と役割」ほか
2月16日(月) 第3回役員会(市役所)
3月4日(水) 第2回会長会議(産業文化会館)
3月13日(金) 推進協議会だより第26号発行
このほか、研修部会計6回、広報部会計5回開催